

2010年3月期 決算説明



成長と変革、そして未来へ

2010年5月10日



MIES

三井造船株式会社

09年度決算のポイント

1. 売上高及び営業利益は
過去最高を記録

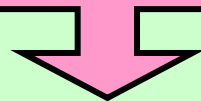
2. 市況低迷により
受注減少

09年度決算のポイント

1. 売上高及び営業利益は過去最高を記録

原価低減効果

コストダウンの成果



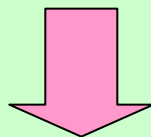
- 購入品の調達（資機材価格の値下げ）
- 加工外注品の値下げ
- 固定費の削減
- 効率化投資の効果

09年度決算のポイント

2. 市況低迷により受注減少

(1) 受注減少 : 8,019億円 (08年度) → 3,591億円 (09年度) : 55.2%減少

(2) 売上増加 : 6,867億円 (08年度) → 7,660億円 (09年度) : 11.5%増加



受注獲得に向けた姿勢

- ・競争優位性を高める
- ・受注製品の絞込み

差別化
顧客ニーズ
コストダウン

連結決算の概要

(単位：億円)

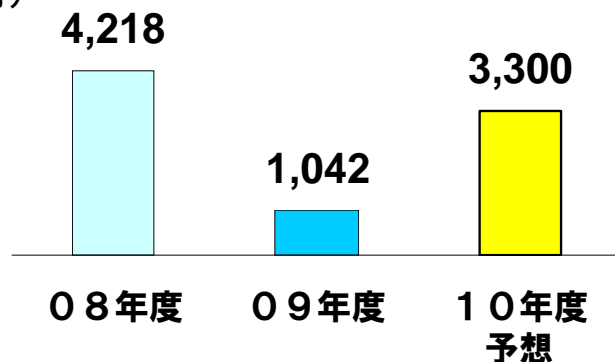
	08年度 実績	09年度 期初予想	09年度 修正予想	09年度 実績	10年度 予想
受注高	8,019	5,000	3,900	3,591	6,500
売上高	6,867	7,200	7,500	7,660	6,000
営業利益	269	270	370	430	310
経常利益	234	240	360	420	280
当期 純利益	106	115	180	197	120

*09年度修正予想は10年2月5日の修正予想数値

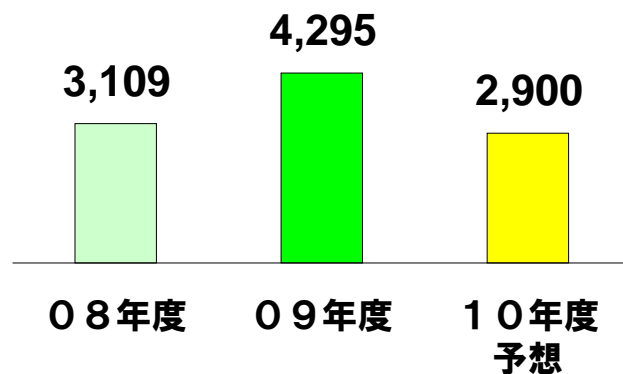
連結決算の概要—船舶部門

(単位：億円)

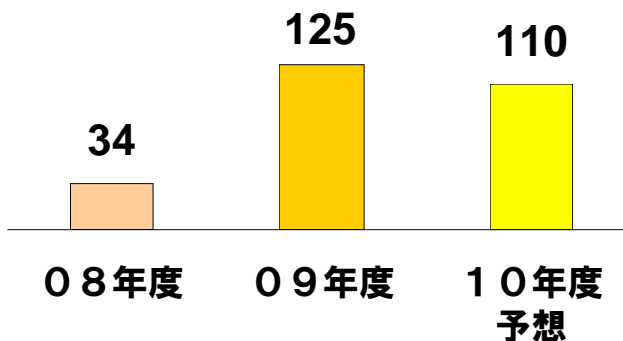
受注高



売上高



営業利益



受注は我慢の一年、 売上と営業利益は大幅増

○受注高

- ・市況低迷、船価大幅下落で、商船の新規受注は様子見
- ・8月にDD (護衛艦) 受注成約
- ・手持工事量は約3年分を確保
- ・CO2削減船・新開発船の市場投入で受注機会創出

単体実績 (隻数)	08年度		09年度	
	受注	引渡	受注	引渡
56BC	10	10	0	18

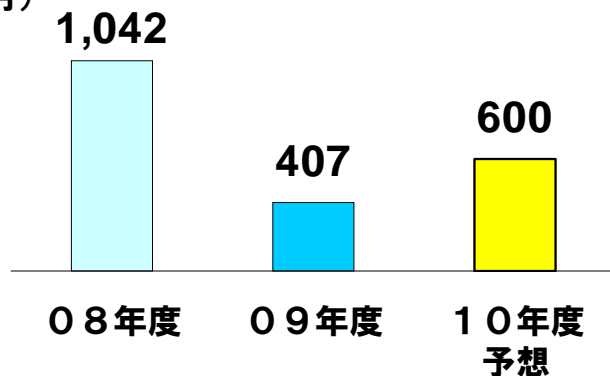
○売上高／営業利益

- ・売上高は工事進行基準の全面適用開始や大口工事の完成により、前年度から1,000億円以上の増加
- ・コストダウン効果に鋼材調達価格の低下が加わり、大幅増益

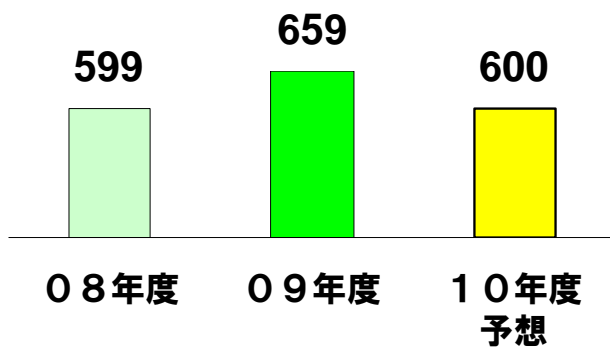
連結決算の概要—鉄構建設部門

(単位：億円)

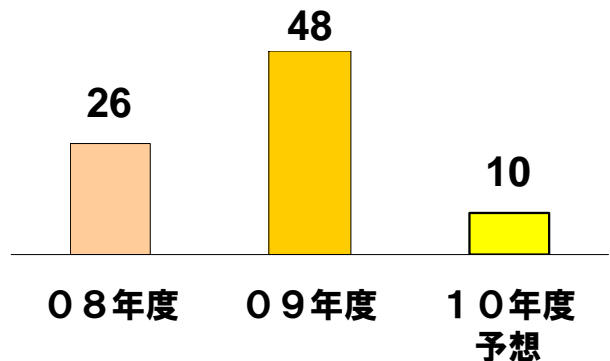
受注高



売上高



営業利益



2年連続の増収増益

○受注高

- ・ 需要減少に伴い受注は低迷
- ・ クレーン需要は回復に至っていないが、コンテナ荷動きは回復傾向
- ・ 大型保全橋梁工事（橋梁架替）を受注

実績 (基数)	08年度		09年度	
	受注	引渡	受注	引渡
ポーターナ	17	20	6	14
トランスターナ	83	62	6	32

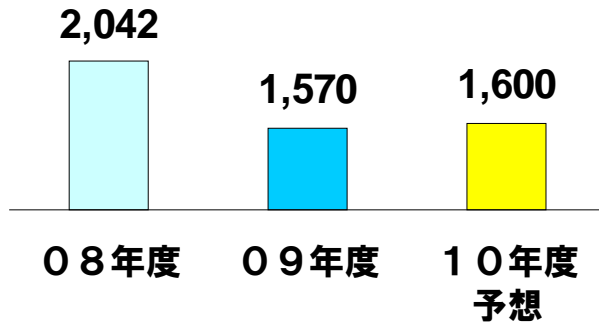
○売上高／営業利益

- ・ 売上高は2年連続して10%以上の増収
- ・ 営業利益は3年連続増益、営業利益率7%へ
- ・ 安定した操業とコスト改善が増益へ寄与

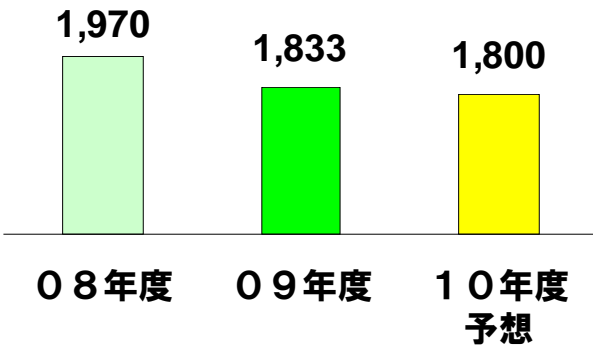
連結決算の概要—機械部門

(単位：億円)

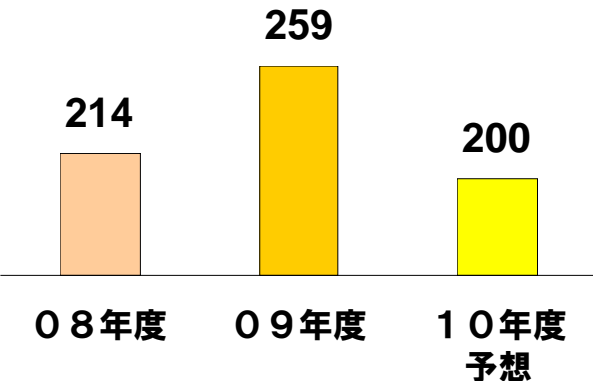
受注高



売上高



営業利益



減収するも過去最高益

○受注高

- ・ 船用ディーゼル機関は前年並み、アフターサービス事業は市況低迷により減少
更なるコストダウンと環境対応技術の開発加速により受注拡大を目指す
- ・ 産業機械事業は市況低迷により大幅減、往復動圧縮機を中心に受注拡大を目指す

○売上高

- ・ 液晶半導体、ハワエレ関連等の売上高が悪化するも主力事業および海外子会社が貢献し、微減
(船用ディーゼル機関)

実績	08年度			09年度		
	受注	売上	受注残高	受注	売上	受注残高
基数	195	180	236	190	196	223

○営業利益

- ・ 主力事業、子会社の貢献により過去最高益

連結決算の概要ープラント部門

(単位：億円)



市況悪化の影響で受注低迷

○受注高

・化学プラント分野

国内市場の投資意欲は低調に推移、
海外市場は後半に投資計画の動き有り

・環境分野

環境エネルギー関連の機運高まる

○売上高

・受注低迷により売上高減少

売上高 内訳 (億円)	08年度	09年度
化学プラント分野	756	496
環境分野	209	188

連結決算の概要—新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

CO₂ 30%削減船の開発



多くの実績を有する船舶部門と国内No. 1のシェアを誇る船用ディーゼルエンジン部門を持つ強みを生かし、製品化を目指す。

NGH事業



NGHのペレット製造、輸送、ガス化、需要家による発電までの一貫輸送チェーンを実証済み。今後、大型化開発を推進して行く。

連結決算の概要一新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

リチウムイオン二次電池用 リン酸鉄リチウム正極材製造



高性能なリン酸鉄リチウムの製造プロセスを開発し、36ton/年の量産化へ。2010年度中には商業プラントを立ち上げ、商業化を軌道に乗せる予定。

バイオエタノール製造プラント



バイオマス発電事業は2007年度から順調に運転を継続。バイオエタノール事業は2009年度に納入し順調に稼働中。現在、新たなバイオマス事業を検討中であり2011年度の商業化を目指す。

連結決算の概要—新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

太陽熱発電



ビームダウン式集光太陽熱発電の実験プラントを2009年10月に納入し、事業化を推進。
 今後は全体のエンジニアリングに関与して行く予定。

バラスト水処理装置



小型船舶用にはスペシャルパイプとオゾンを利用し、大型船舶用には膜方式を利用した処理装置を開発中。
 今後、型式承認を取得し、市場に投入して行く予定。

09年度 連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	08期末		09期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	6,867	(100.0%)	7,660	(100.0%)	793
売上原価	6,171		6,812		
売上総利益	696		848		
販売費及び一般管理費	427		418		
営業利益	269	(3.9%)	430	(5.6%)	161
営業外収益	65		63		
営業外費用	100		73		
経常利益	234	(3.4%)	420	(5.5%)	186
特別利益	44		5		
特別損失	94		93		
税引前利益	184	(2.7%)	332	(4.3%)	147
法人税、住民税及び事業税	67		154		
法人税等調整額	8		△ 18		
少数株主利益	3		△ 1		
当期純利益	106	(1.5%)	197	(2.6%)	90

09年度 連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	08期末	09期末	増減		08期末	09期末	増減
流動資産	(4,320)	(4,203)	(△117)	支払手形・買掛金	1,813	1,665	△ 147
現預金	843	713	△ 130	前受金	1,331	795	△ 536
受取手形・売掛金	1,334	2,158	824	有利子負債	1,535	1,978	443
仕掛品	1,097	388	△ 709	その他	1,107	1,189	82
短期貸付金	517	490	△ 27	負債合計	(5,786)	(5,627)	(△159)
その他	529	454	△ 75	資本金	444	444	0
固定資産	(3,073)	(3,226)	(153)	資本剰余金	182	182	0
有形固定資産	2,084	2,101	17	利益剰余金	590	764	174
無形固定資産	123	115	△ 7	自己株式	△ 6	△ 6	0
投資有価証券	420	512	92	評価・換算差額等	195	222	26
その他	447	498	51	少数株主持分	202	197	△ 5
合計	7,393	7,429	36	純資産合計	(1,607)	(1,802)	(194)
				合計	7,393	7,429	36

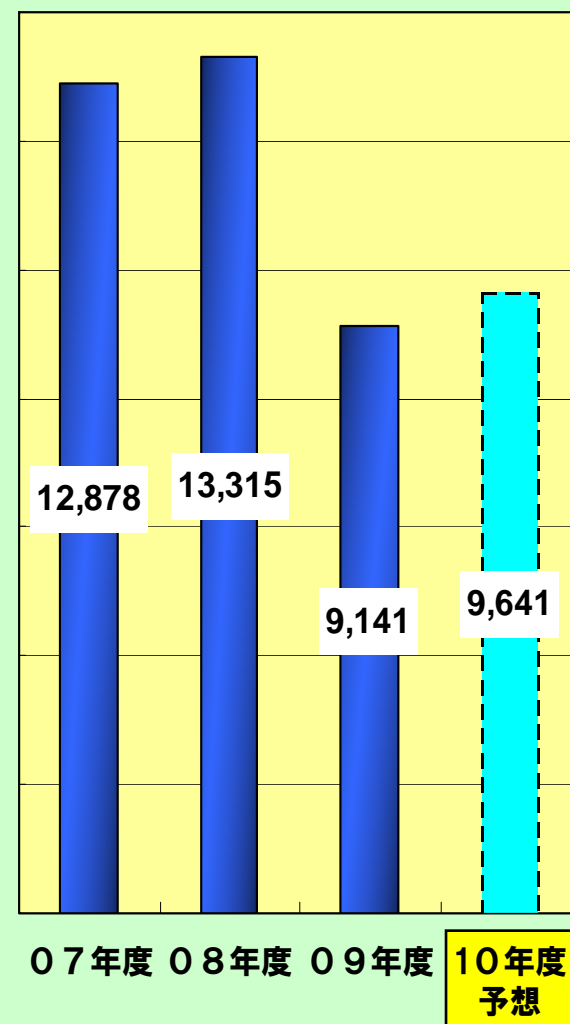
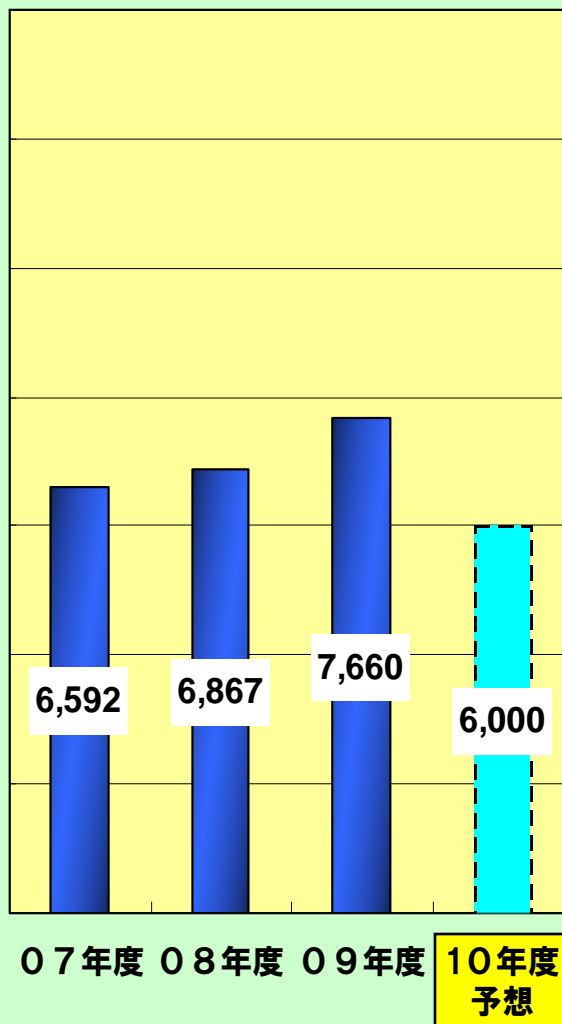
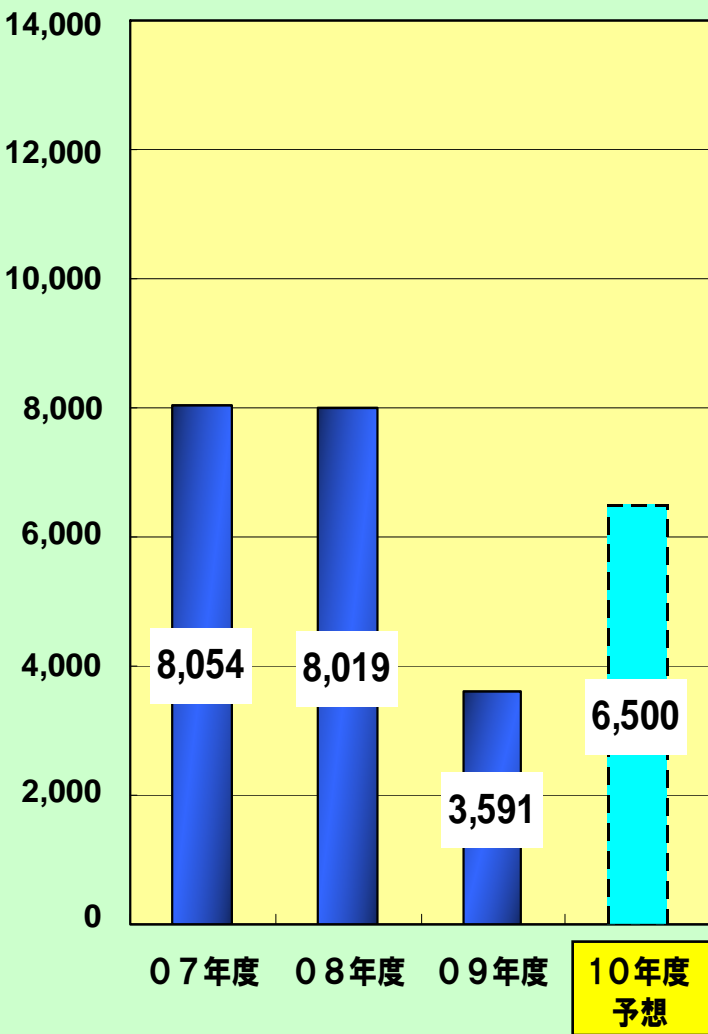
連結受注高・売上高・受注残高推移

(億円)

受注高

売上高

受注残高



連結受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	08年度 実績	09年度 実績	10年度 予想	08年度 実績	09年度 実績	10年度 予想	08年度 実績	09年度 実績	10年度 予想
船 舶	4,218	1,042	3,300	3,109	4,295	2,900	34	125	110
鉄 構 建 設	1,042	407	600	599	659	600	26	48	10
機 械	2,042	1,570	1,600	1,970	1,833	1,800	214	259	200
プ ラ ン ト	502	382	800	965	684	500	△27	△11	△20
そ の 他	215	189	200	224	190	200	22	10	10
合 計	8,019	3,591	6,500	6,867	7,660	6,000	269	430	310

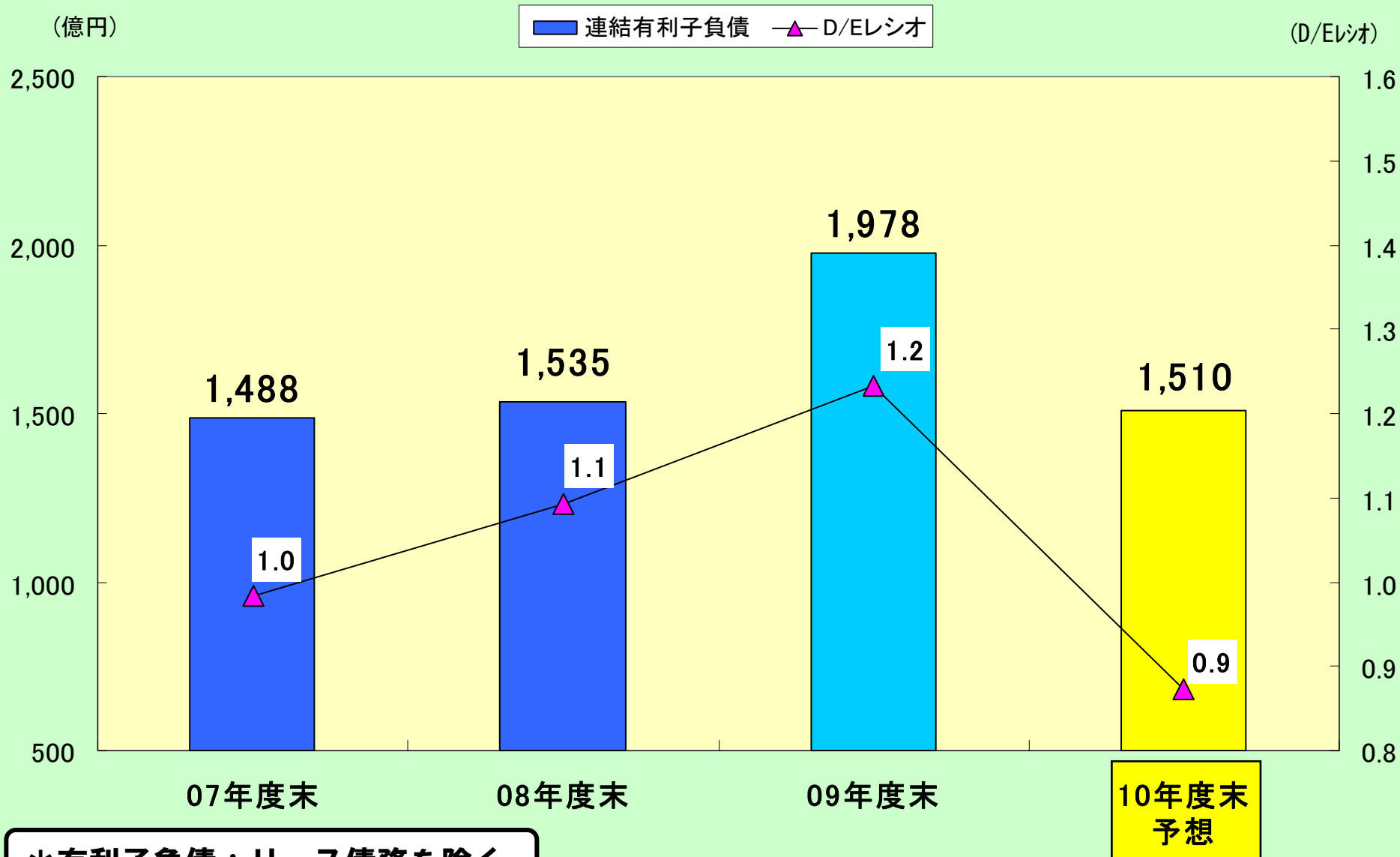
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	08年度実績	09年度修正予想	09年度実績	10年度予想
営業活動による キャッシュフロー	264	30	△186	370
投資活動による キャッシュフロー	△141	△400	21	△310
財務活動による キャッシュフロー	79	330	238	△350
有利子負債	1,535	1,895	1,978	1,510

*09年度修正予想は09年11月2日公表の修正予想数値
*有利子負債はリース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く